

EnerSys マイクログリッド活用+DC急速充電ステーション

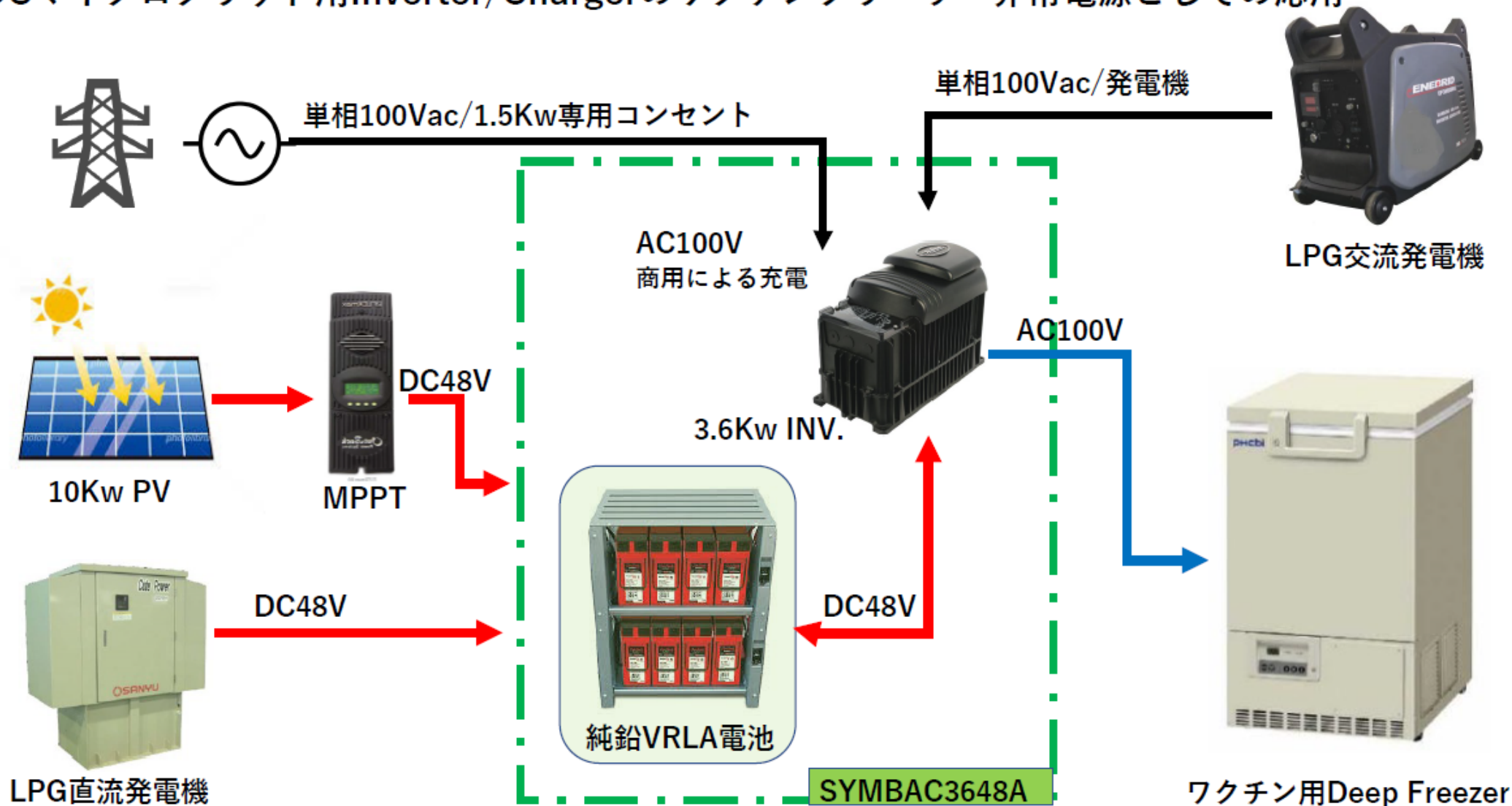
→ 285KWH PROTOTYPE AT ENERSYS TECHNOLOGY CENTER

- 当社技術センターに、電源インフラの強靱性を助けるマイクログリッドを活用したEV充電ステーションを設置し、従業員用として稼働中。
- 当社のInverterCharger製品とリチウム電池モジュール(285Kwh)組み合わせて、Starlink等の衛星通信地上設備の分散電源としても提案中。
- 空港の脱炭素化においても、GSE車輛やTriangulationシステムの独立電源として実績あり。
- 国内でも、コロナワクチンフリーザー用非常電源として拡販中。



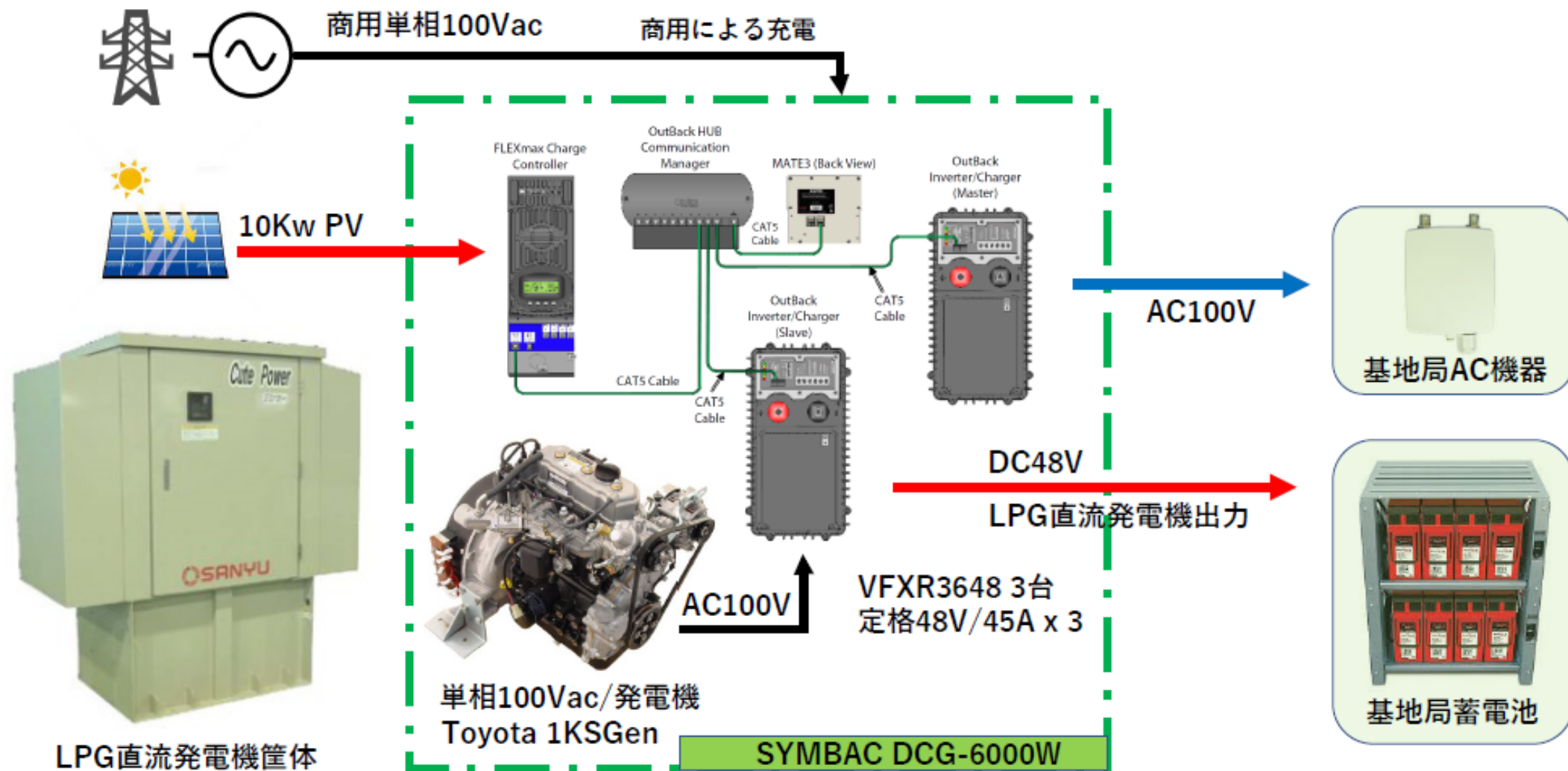
EnerSys マイクログリッド電源モジュールの応用事例

DCマイクログリッド用Inverter/Chargerのワクチンフリーザー非常電源としての応用



EnerSys マイクログリッド電源モジュールの応用事例

Inverter/ChargerのLPG直流発電機としての応用



通信基地局電源Micro-Grid化の必要性

- ▶ 基本的な技術要件:
 - ▶ 脱炭素化を実現する究極のBCP対策
 - ▶ 太陽光・蓄電池・燃料電池・LPG発電機等の複合化により、発電継続のための化石燃料消費を最小化する。
 - ▶ 電源信頼性の向上:
 - ▶ 電力事業自由化で、商用電源の信頼性は低下傾向。
 - ▶ 温暖化により災害発生は日常化。
 - ▶ 島嶼部・山間部を想定した低軌道(LEO)衛星通信
 - ▶ 地上設備電源のMicro-Grid化
 - ▶ 既存ネットワークのバックホールとしてのBCP機能。



空港向けSaab社Triangulation Telemetry通信基地局電源

- ▶ 商用電源に頼らない独立電源構成
- ▶ FAA無線ネットワーク
- ▶ 全米の主要空港50ヶ所
- ▶ 7.6Kwh純鉛VRLA電池
- ▶ 400W太陽光パネル
- ▶ 2018年1月運用開始



Motorola社Fort Bliss通信基地局電源

- ▶ 商用電源に頼らない独立電源構成
- ▶ 負荷電力7Kw
- ▶ 63KwのPVパネル3セット
- ▶ 7.6Kwh純鉛VRLA電池
- ▶ 蓄電池容量16Kwh
- ▶ 不日照バックアップ用直流発電機
- ▶ OutBack製充電コントローラ18台



カナダ北部石油パイプライン保全基地局

- ▶ 商用電源に頼らない独立電源構成
- ▶ 遮断弁制御電源
- ▶ OutBack製Inverter Charger3台
- ▶ 2KwのPVパネル
- ▶ 蓄電池容量106Kwh
- ▶ OutBack製充電コントローラ18台
- ▶ 2018年10月運用開始



Fort Lewis 軍用Multilateration システム

- ▶ 商用電源に頼らない独立電源構成
- ▶ 飛翔体探索Multilateration Sensor
- ▶ OutBack製Inverter Charger
- ▶ 3.5KwのPVパネル
- ▶ 蓄電池容量19.2Kwh
- ▶ OutBack製充電コントローラ
- ▶ 2018年1月運用開始



Maricopa County – Motorola地域防災無線局

- ▶ 商用電源に頼らない独立電源構成
- ▶ 地域防災無線局5ヶ所
- ▶ 整流器負荷容量24Kw
- ▶ 54KwのPVパネル
- ▶ 蓄電池容量576Kwh
- ▶ OutBack製充電コントローラ
- ▶ 2018年10月運用開始



東南アジア&インド — 携帯基地局用太陽光電源

More than Ten Thousand of Solarized Base Terminal Station (BTS) towers are using Outback MPPT Charge controllers- in South Asia Continent

